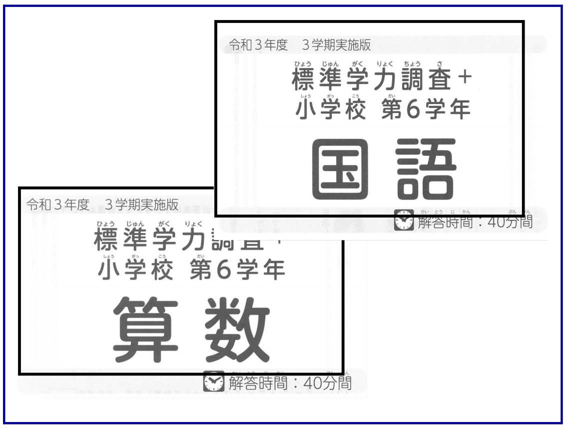
中央小ものがたり

やさしく　かしこく　たくましく

令和3年12月22日
大村市立中央小学校
発行 石司 貴弘



全ての子どもたちに　確かな学力を

大村市内の全て小中学生（約９，０００名）は、１２月中旬に「標準学力調査」といわれる国語と算数(数学)のテストを受けました。

調査の目的は次の通りです。

①児童一人一人の学力の定着度を把握する
②学力課題に応じて授業改善を図る
②子どもが自分の苦手なことを認識し、
　その後の学習に生かせるようにする

結果は２月中旬に学校に届くことになっています。子どもたちに対して、「あなたは□□の力が伸びましたね。さらに、〇〇を続けて取り組むといいですね。」というように、できないことを指摘するだけでなく、その子なりのよさを認めた上で次への課題を伝えたいと考えています。

【学校は･･･】

□調査によって、「得意なこととそうでないこと」が明らかになります。できることをさらに伸ばし、不得意な部分を改善できるよう個別にフォローします。

□学力の実態に応じて指導計画の修正や、わかる授業づくりのための工夫改善に取り組みます。

【各家庭で･･･】

□学校での学習を振り返ることで学んだ内容が定着します。できること、わかったことを繰り返すことで、自信を深め次への意欲も高まります。それぞれの家庭で、学習環境を整え、家庭学習への取組を支援していただきたく思います。例えば、

①一定時間は読書、学習の時間としてテレビを消す
②学校でどんな学習をしているのか、話題にする（ノートを見るなど）
③子どもの頑張りに「プラスの評価」をする

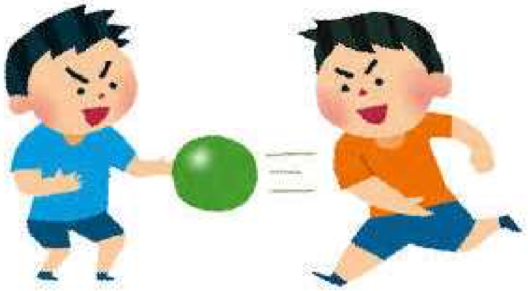
といったご協力をいただくことで、子どもはさらに伸びていくと確信します。

中央小学校の子どもたちは、学習に大変熱心に取り組んでいます。人の話をしっかり聞く、自分の考えを伝える、わからないことを調べるなど、その学びの姿は大変立派です。また、それを支える本校教職員は入念な授業計画を練り、わかる楽しい授業づくりに知恵を絞っているところです。まさに中央小学校の教室は、子どもたちが共に磨き合い、励まし合っている場です。

ご家庭でも、励ましやがんばりを認める褒め言葉で子どもたちを包んでくださいますようお願いします。

正しい生活リズムを守りましょう

家族みんなで整える！



　１７日間の冬休みに入ります。クリスマスや年末年始と、子どもたちにとっては楽しみなことがたくさんで、うきうき・わくわくの時です。

　ところで、学校の一日の生活は登校してから下校までタイムスケジュールが細かく決められています。規則正しい生活が自然にできるようになっています。

☆４５分の授業時間は、学びに没頭します。

☆休み時間には、お友達と鬼ごっこをしたり、ドッジボールをしたり…思いっきり体を動かしてエネルギーを発散しています。

☆給食や係・当番活動や清掃など、人のために動く役割も担います

やや窮屈とも思えるような「時間割」の中で、子どもたちは自分の欲求と折り合いを付けながら生活しています。時には我慢も必要です。学校は「社会」であり、他者とともによりよく生きるための力を身に付けなければならないからです。６歳になったばかりの子どもたちがこの環境の中で生活し、少しずつ社会性を身に付けていくのですから、子どもたちの力・感性は本当にすばらしいと感じます。

　さて、２週間の長いお休みはご家族の皆様とともに１日の生活のリズムをつくることになります。ゆっくりと心と体の疲れをとることも必要でしょう。しかし、ルーズになると心と体のバランスを崩すことにつながりかねません。是非ご家庭で一日の過ごし方について話題にしていただき、寝る時刻・起きる時刻などの一日の生活のリズムや２週間の大まかな予定について意識して取り組んでいただければ幸いです。予定や目標がないと、なんとなく時間だけが過ぎ、「今日何をやったのか」がはっきりわからないということになります。

　ご家族みな様で、健やかな、そして楽しく有意義な年末年始を過ごせますように。

感謝状

大村市立中央小学校 様

貴校は共同募金運動に対し
温かいご理解のうえ永年に
わたり多額のご寄付を賜り
本県社会福祉の増進に大きく
寄与されました
よってここにそのご厚情に対し
深く感謝の意を表します

令和三年十一月十九日

社会福祉法人長崎県共同募金会
会長 宮脇雅俊